

令和8年度第1回（第13回） 常総市総合教育会議 会議録（要旨）（案）

【日 時】 令和8年7月27日（月）午前10時00分～12時02分

【場 所】 常総市役所3階 庁議室

- 【次 第】
- 1 開会
 - 2 市長あいさつ
 - 3 協議・報告事項
 - （1）令和8年度予算と次年度に向けた課題について
 - ①重点事業の3本柱と部門重要施策
 - ②主要教育関連事業
 - （2）小・中学校、高校及び大学等と常総市役所の連携の取組、令和8年度各学校の校内研究・特色ある教育活動
 - （3）その他
 - ①中学生議会
 - ②少年の主張大会での意見報告
 - ③教育職員に関する業務量管理・健康確保措置実施計画
 - ④その他
 - 4 閉会

【出席者】

教育委員：服部 仁一教育長，秋田 敏雄委員，倉持 好一委員，中山 奈央委員，
花島 さと子委員

市 当 局：神達 岳志市長，小淵 康正副市長，小林市長公室長，斎藤政策調整監，
倉持教育部長，学校教育課（増田課長，松村課長補佐，中村総務係長），
生涯学習課（坂巻課長），指導課（古家野指導主事），
学校給食センター（宇梶所長，増田所長補佐），図書館（服部館長），
飯田石下小学校長，入江石下西中学校長

事 務 局：常創戦略課
（倉持課長，宮地課長補佐，金子計画推進係長，細谷計画推進係主事）

1 開会（10：00）

事務局 ただいまから、第13回（令和8年度第1回）総合教育会議を開催します。
本日はお忙しい中、ご出席いただきありがとうございます。

改めて、総合教育会議の背景及び目的についてご説明します。総合教育会議は、国で教育委員会制度の見直しが行われ、平成26年度の通常国会において「地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律」が可決・成立したことにより、各自治体に設置されました。本市においても総合教育会議運営要綱を定めて、それに基づき運営をしています。

また、総合教育会議は市長と教育委員で構成され、会議の中で、重点的に講ずべき施策や子どもたちを取り巻く様々な課題について協議・調整を行うことで市政や教育行政のさまざまな課題について効率的に取り組むこととされました。

さらに、総合教育会議では首長が教育行政に果たす責任や役割を明確にし、首長が公の場で教育政策について議論することが可能となり、市長部局と教育委員会が協議及び調整することにより、両者が教育行政の方向性を共有・一致して執行にあたるということが可能となります。総合教育会議では、予算や条例提案等に加えて、保育や福祉等の首長の権限に関わる事項についても協議・調整を行うほか、教育委員会のみの権限に属する事柄についても自由な意見交換を行うことが想定されているので、その趣旨にのっとり、活発な意見交換をお願いします。市当局及び市教育委員会での今後の事業推進や予算検討に活かしていきたいと思います。

最後に、本日の内容は議事録として事務局で取りまとめ、皆さまにご確認いただいた上で、市のホームページにて公開するので、ご協力をお願いします。

2 市長あいさつ

市長 本日は、お集まりいただきありがとうございます。また、日頃から市政に多大なるご協力をいただきありがとうございます。

総合教育会議ということで、教育委員と校長先生にも参加していただきありがとうございます。以前は、行政は教育行政には口出しができないという雰囲気でしたが、この改革によって首長も教育に責任を持つこととされました。教育長の任命方法も変わりました。学校などで問題が起きた時に行政が知らぬふりではなく、行政が進めるこども・子育ての取組や福祉などの子ども政策と教育は密接に関わっています。

予算配分も総合的に考えて、子どもたちのために行政としても、教育や子育てにコミットしていくという国の方針の基、変更が行われました。私は、教育改革の真っ只中の時に、教育再生首長会議に参加していました。平成26年に日本の教育制度が大きく変更となった。今日の報告にもありますが、この総合教育会議は情報の共有の場ではありますが、ざっくばらんに発言していただくようお願いします。私としても思いを伝えたい。子どもたちの教育はこれで良いのか、子どもが激減していくなかで、環境も変わっていく中で、常総市ならではの教育が出来るのか。子どもたちが未来で活躍できるように、先生方の働き方改革、先生方の地域での立場を含めて、行政の中で議論しているところですが、先生方が地域で憧れられる立場で向き合っていただきたいという思いがあります。教職を辞めてしまう先生、新たな成り手もないという状況もあります。教育現場を改善していくために、思い切ったやり方が必要だと考えています。学校だけでなく、地域で支えていく体制を作っていきたいと教育長とも話をしていますので、忌憚のないご意見をお願いしたい。

3 協議・報告事項

(1) 令和8年度予算と次年度に向けた課題について

① 重点事業の3本柱と部門重要施策について

常創戦略課 (資料に基づき説明)

秋田委員 ロボットプログラミング講座の参加率はどのくらいか。中学生対象とのことだが、どれくらいの参加者がいるのか。

常創戦略課 各回10名程度の定員で、ほぼ毎回満員となっている。小学生向けと中学生向け講座がある。全小学生中学生ではなく、公募としている。その他、中学1年生向けのオリエンテーションの中で、あすなろの里体育館で幅広く体験してもらっている。

秋田委員 年に何回くらいやっているのか。参加者から聞いたが、待ち時間が非常に長いと聞いた。待ち時間をうまく利用し、AIに触れる取組をぜひやってほしい。

常創戦略課 年に3回程度開催している。

市長 世界のホンダのAI技術者が常総市にはいる。これは常総市ならではの環境。これからは産業構造も変わって、全部の業界でAIが当たり前になっている時代。その裏側にプログラミングがある。世界でも日本はAI教育が遅れている。学校現場でもどんどん使ってもらいたい。将来、常総市の子どもたちはAIに詳しいという形にしたい。身近にプロフェッショナルがいるのはすごいことである。興味がある子だけでなく、他市町から常総市にAI教育を学びに来るくらいにしていきたい。先生の方々もAIを学んでいけると良いと考えるが、学校現場ではどうか。

入江校長 得意な先生もいるが、苦手な先生もいるのが現状。

教育長 貴重なご意見ありがたい。中1オリエンテーションに行ったが、やはり待ち時間が長いと感じた。AI担当の産業振興部へもどんどん先生を使ってほしいとお願ひした。AIが得意な子どもだけを集めても良いと思う。世界で活躍する子どもたちを育てれば、いずれ故郷・常総市に目を向けてくれるはず。AIの好きな子どもたちに向けて、講座を何回もできると良い。

市長 部活動の地域移行の中で、AIに関する取組を文化部としてできないかと考えている。先生はホンダの一流技術者。ホンダでどこまで協力してくれるかは調整していきたい。「ima(アイマ)」というAI企業とも連携しているので、ぜひ学校でも協力してほしい。得意な子がいるかどうかのリサーチについても協力してほしい。

② 主要教育関連事業について

教育委員会各課 (資料に基づき説明)

倉持委員 こどもまんなかの政策は3年目くらいになると思うが、教員を30年くらいや

っていた私としても、とてもうれしい政策だと思う。

豊岡小では「夏休みの友」のような紙の宿題をやるという子どもがいた。水海道小に行ったときに、タブレットを使っているのか、と子どもが聞いてきた。A I ドリルにはたくさん問題が入っているとのこと。4年生では実施状況を先生がチェックしてくれている。何か月か前に、定例の教育委員会の会議で話をしたが、数か月でどんどん進んでいる。歴史が好きな子は小学生でも中学生の歴史の勉強をしていた。子どもたちはやればどんどんできるようになる。正解するとスタンプがもらえる。学校教育課の取組は先生の助けを通じて、どんどん進んでいると思った。子どもたちはどんどんできるようになっていく。

倉持委員 部活動の地域展開のイメージを教えてください。

生涯学習課長 本日、明日で教職員への説明を行い、その後保護者への説明の予定している。教員以外の指導者を見つけているところだが、そのような方々と集まって協議を行う予定。準備が整えば、12月以降、土日の部活動を地域へ展開していくスケジュールとなっている。校長先生とも話をしているが、現場の不安もある。よく話し合いながら進めていきたい。指導者の報酬についても国や県の補助金の目途が立ち、予算要求もしている状況。

市長 石下西中の校長先生、現場ではどうですか。

入江校長 令和10年度までに土日の部活動をなくすという方向だが、急に始まった部分もあり、現場の先生も不安に思っているのが正直なところ。

市長 競技別に見ると、5競技くらいは移行できているところか。全部で15くらいの部活動がある。

入江校長 野球、テニス、柔道はすでにクラブでもやっている。

市長 吹奏楽部はどうか。

入江校長 吹奏楽はやりたいが、場所がないのが現状。石下中と石下西中の合同でやってみてはいる。

教育長 わせがく高校にも声をかけている。わせがくを拠点にできないかと。場所の提供をお願いしている。

教育部長 わせがくに協力していただけるのであれば、中学、高校の合同も可能。今の中学3年生は地域移行を知らずに入学しているので、活躍の場がなくなるのは良くない。今の中学1年生は、地域展開を前提に入学している。吹奏楽部については、旧大花羽小の3階は使えないか検討している。ただやはり、保護者の送迎に課題がある。生涯学習課で楽器の管理もできるだろう。最終的な理想は市民バンドのようところに民間委託し、子どもたちを受け入れてもらえると良い。今の3年生は学校の部活としてやってもらう。地域部活動の立ち上げだが、柔道、バレーボール、軟式野球、ハンドボールの5種目は一部で立ち上がっている。

中山委員 「みつかる」が出来て、市内・市外かかわらず高校生が使っている。自分の娘も最初は使い方が分からず帰ってきてしまったが、数日後にSNSで紹介動画があがっており、とても良いなと感じた。娘はクッキングスタジオが使いたいと言っているの、部屋ごとの使い方の動画が上がっていると使いやすくなると思

うので、検討してほしい。

市 長 水海道二高の教員志望の生徒が市内の小学生に勉強を教える場を作ろうとして
くれている。

教 育 長 水海道二高の教員志望の60名が集まって、小学生を対象に4日間、勉強を教え
てくれるという事業（宿題お助け広場）が立ち上がった。楽しみにしているところ。

教育部長 生涯学習センターの2階を自習室として開放していた。試行的に水海道一高の
生徒に貸出していたが、他校の生徒も使いたいとの意見もあり、今は広く開放し
ている。中高生向けに開放している。

生涯学習課長 中学生は、18時まで、高校生は閉館までとしている。みつかる以外にも学習セ
ンターや図書館で勉強できることとなっている。

花島委員 中2の娘が、学校でA Iドリルを使っていることを知らなかった。せっかく入
っているのだから、使うように言っている。先生に聞いて使えるようになった。
周知の部分が足りていないのかなとも思った。

市 長 A Iドリルは具体的にはどういうものなのか。

指 導 課 今まで紙でワークをしていたものが、多数の問題がタブレットでできるような
ものであり、過去の学年の問題もできる。昨年度までのA Iドリルは、中学3年
生だと、県立高校の過去問まで出来ていた。今年度から提供業者が変わったので、
もしかしたら子どもたちも把握できていなかったり、少し周知不足はあるかもしれ
ない。

飯田校長 授業の中でも振り返りとして使っている。小学校は今年度から「ミライシード」
という名称のものに変わった。これまで夏休みの宿題に冊子で買っていたものは、
家庭の負担もあるということでA Iドリルに変えているところが多い。

教育部長 小学校と中学校で別のドリルを入れている。ログインの頻度を確認できる。か
なり右肩上がりでログインが増えている状況。一方で、学校によっては温度差が
ある。

どこがA Iなのかというと、どうして間違えたのかをA Iが診断して、振り返
りをA Iが提案してくれる。どこの単元を復習すればいいかが分かる。目一杯使
い倒してもらえれば、塾に行かなくても十分ではないか。

教 育 長 ポイントが溜まったり、楽しんでやれたりもする。指導課でも何ポイントか貯
まったら表彰したらどうかという話も出ている。

副 市 長 宿題との関係性はどのようになっているのか。

教 育 長 宿題で使ったりもしている。この夏休みは自由に使えるようにしている。学校
によっては、宿題としているところもある。

市 長 「市内A Iドリル選手権」をやったらより使われるのではないか。

教 育 長 現在は、宿題でもできるように、児童クラブやほっとサタデーの場所でも使え

るように学校教育課で整備していただいた。

副市長 家庭でネットワーク環境がない家庭はどうしているのか。

教育長 学校でダウンロードして持って帰っている。

教育部長 ネットワーク環境がない家庭もある。ポケットWi-Fiの本体は学校教育課にあるが、SIMがない。SIMの通信費の援助も就学援助家庭にはしていきたい。

市長 学校でのタブレットの通信環境はどうか。

入江校長 大容量なので問題ない。

市長 私の同級生から聞かれたが、絹西小の木造校舎を壊す前に見学会をやってほしいと言われた。

秋田委員 絹西小の方針は、どのようなものか。絹西小は、昔から木造校舎で残ってきた。新しい校舎も木造の部材を多く使った校舎になると良い。

教育部長 木材の利用に関する要望は設計業者に話している。絹西小の校長先生も含めて日立市にある木質の学校にも見学に行った。廊下と教室の仕切りは入れたい。具体的な整備については現場の先生方と一緒に進めているところ。

花島委員 石下地区の自習室の場所が欲しいと思うがどうか。子どもたちだけでは水海道まで行くのは難しい。国生からでは下妻の方が近いため、そちらの方を利用している。

市長 お城の図書室をリニューアルするとか考えていってはと思うがどうか。

図書館長 石下の図書室は現在2万冊の蔵書がある。図書館としては5万冊くらいは必要。空間も狭い。公共施設の空きで分館を作るなどが考えられる。守谷市や坂東市では今の常総市の図書館の倍の延べ床面積がある。つくばみらい市、八千代町、下妻市、坂東市とは協定を結んでいる。そういったこともあり、そこまで強い要望にはなっていない。

副市長 花島委員がおっしゃっているのは、図書室か学習スペースなのかどちらを求めているのか。

花島委員 どちらかということ学習スペースが必要。公共施設で勉強できる場所があるといいなと思うところ。

生涯学習課長 交流センターは和室もあるがあまり使われていない。

市長 使われていないのであれば、リノベーションしたらどうか。生涯学習課で検討してほしい。

(2) 小・中学校、高校及び大学等と常総市役所の連携の取組、令和8年度各学校の校内研究・特色ある教育活動について

常創戦略課 (資料に基づき説明)

指 導 課 (資料に基づき説明)

市 長 各学校での取組について、校長先生に聞きたいが、学校同士でも共有しているのか。

飯田校長 校長会でも共有している。

教 育 長 学校側に対しては、体験を含めた、地域を巻き込んだ取組、地域学習をしてほしいと話している。また、常総市を好きになって、郷土愛をはぐくむ取り組みをしてほしいと伝えている。定住や定着にもつながる。将来の市の発展にもつながる。

副 市 長 AIドリルなど生成AIに目が行くが、ロボットや自動運転などフィジカルAIが人間に代わって活用している市内の事業者もある。職場見学などで使われている現場を見てもらえるような機会を与えてもらおうと子どもたちも実感が湧くのではないかと思う。

市 長 市長になると工場見学に行く機会があるが、市内の工業団地にはすごい技術がある。残留農薬の研究所もすごいところ。
県西地域では、古河市と常総市だけが昼夜人口が1を超えている。昼間の人口が多い。つまり昼間働きに来ている人が多く、また、それだけ働く場所も多い。市内の子どもたちはこうしたことを知らないで東京やつくば市に行ってしまう。こういうことを保護者も含めて知ってもらいたい。最先端の企業が市内にはある。子どもたちや保護者に知ってもらおう。学校でも伝えてもらいたい。

倉持委員 自分たちも知らない。親が知らないと子どもも外を向いてしまう。

(3) その他

【① 中学生議会（令和7年度実績及び令和8年度開催報告）】

常創戦略課 (資料に基づき説明)

市 長 毎年各中学校で工夫してくれて、質問で終わりではなく、事業化している実績もある。交通安全の立哨も一緒にやっている。一緒に行動するという社会参画にもなっている。ぜひご覧いただきたい。

【② 少年の主張大会での意見報告】

生涯学習課長 (資料に基づき説明)

生涯学習課長 今年度は9月10日に開催予定としている。昨年との異なる点として、生涯学習センターでの開催を予定。これまでは、各中学校の1年生を交流センターに集めて行っていたが、1年生だけでなく、全学年でも見られるように、オンラインで生中継を予定している。

市 長 毎年感動的な発表をしてくれて、大人が勉強になっている。今年もよろしくお
願いしたい。

【③ 教育職員に関する業務量管理・健康確保措置実施計画について】

学校教育課 （資料に基づき説明）

市 長 本当に先生方は大変だと思う。業務量を減らすなど、このような指針もあり、
余計に仕事が増えている感はある。管理する校長先生や指導課も大変になってしま
う。

4 閉会（12：02）